



あなたは大丈夫？

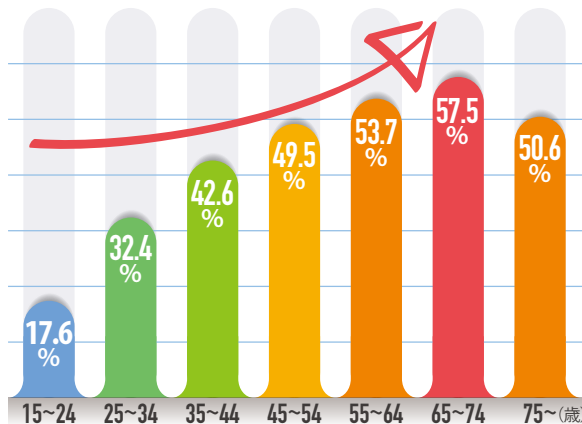
放置は危険！ 口腔トラブル 成人の7割*は歯周病!?

成人の7割もの人に歯肉出血・歯石・歯周ポケットのいずれかに所見がみられます。
しかし、初期段階は痛みなどの症状がないため放置されがちです。
「軽い出血程度で…」と考えていると、歯を失ってしまうかもしれません。
また、歯周病は歯を失うだけでなく、全身の病気にもつながる怖い病気でもあるのです。

※厚生労働省 平成28年歯科疾患実態調査



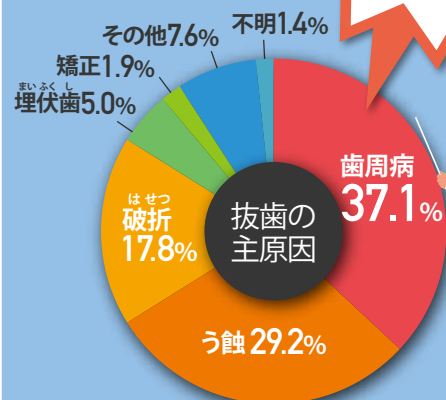
年齢とともに歯周病の発症リスクが高くなる！
4mm以上の歯周ポケット*を有する者の割合（年齢別）



厚生労働省 平成28年歯科疾患実態調査

※歯周ポケットが4mm以上になると歯周病が進行しはじめています（詳しくはP.5へ）

歯を失う原因
第1位



8020推進財団 第2回永久歯の抜歯原因調査（2018）



- 朝起きたとき、口の中がネバネバする
- ブラッシング時に出血する
- 歯肉がむずがゆい、痛い
- 口臭が気になる
- 歯肉が赤く腫れている
- 硬いものがかみにくい
- 歯が長くなったような気がする
- 食べ物がはさまる

歯を失う前に 全身の病気につながる前に
今すぐあなたも口の中をチェック

日本臨床歯周病学会の
ホームページをもとに作成

1つでもあてはまるものがあれば、油断は禁物。
もっと詳しく歯周病について知ろう！

歯周病！歯を失う最大の原因

歯周病は、歯を支える土台の「歯周組織」が破壊される病気。進行すれば歯を失うことになります。また、1カ所に発症すると、その周りにも影響がおよび、歯を1本失うだけではすまなくなります。歯周病が歯を失う原因の第1位なのは、進行するまで目立った症状がなく、知らないうちに歯周組織の破壊が進んでしまうからです。

原因は歯周病菌の温床 プラーク(歯垢)

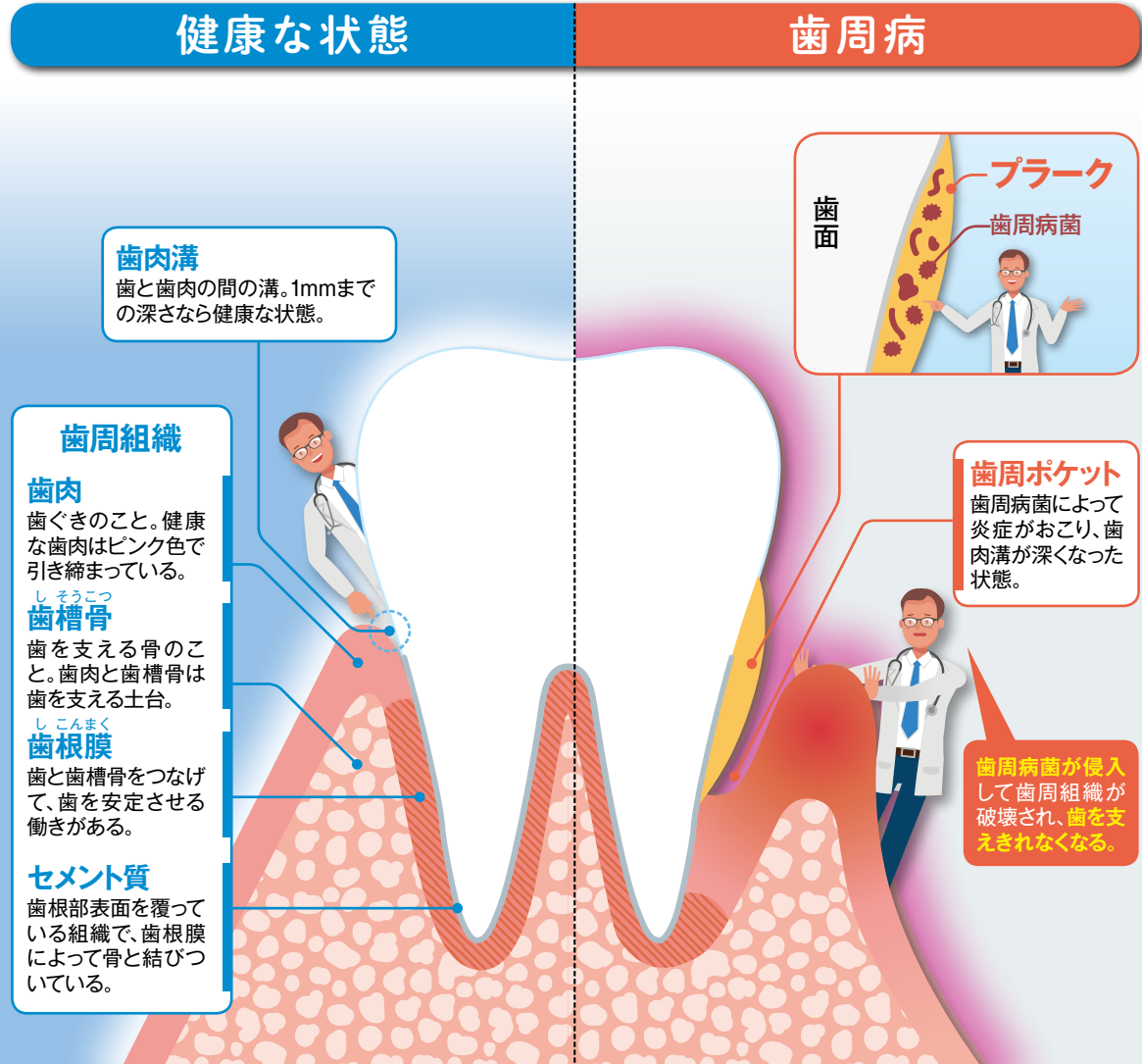
口の中には歯周病菌をはじめとするたくさんの細菌がすみついています。それらの細菌は、口の中の食べかすをエサに「プラーク(歯垢)」と呼ばれるすみかを作り、歯や歯肉にべっとりと付着します。

プラークは数日で硬い「歯石」になり、その歯石にまたプラークが付着して、歯磨きでは除去することができなくなり、歯周病菌の温床になります。

増殖した歯周病菌によっておこるのが歯周病です。

健康な状態

歯周病

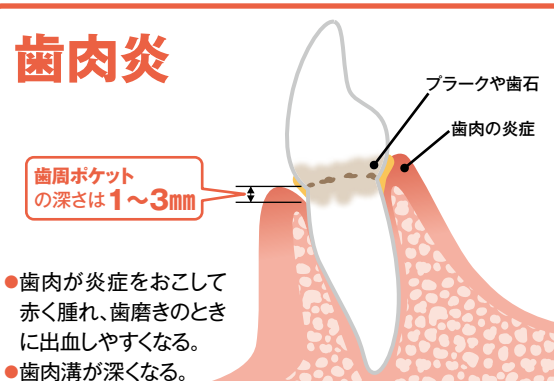


歯周病の初期は歯肉炎、進行すると歯周炎に

歯肉溝にプラークや歯石がたまると歯周病菌によって歯肉に炎症がおこり、「歯周ポケット」ができます。この状態を「歯肉炎」といい、プラークや歯石を徹底的に除去すれば症状の改善が期待できます。

しかし、歯肉炎を放置すると歯周ポケットが深くなり、「歯周炎」に進行します。プラークが歯周ポケットの奥へ侵入し、歯槽骨や歯根膜が破壊されはじめます。重症化すると簡単には改善できず、歯槽骨が溶けていき、歯が抜け落ちてしまいます。

歯肉炎

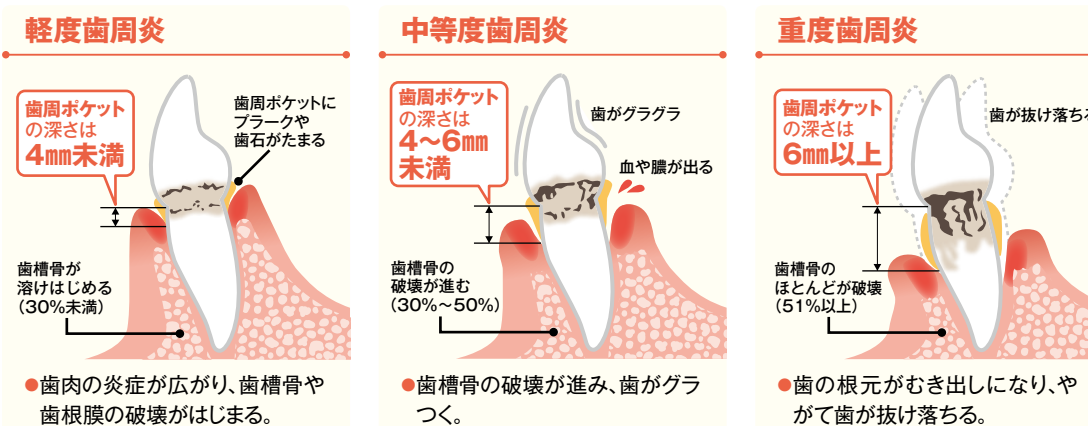


歯肉の炎症は免疫反応によるもの

プラークの中の歯周病菌が歯肉に接すると、体の免疫反応によって歯周病菌や細菌が作り出す毒素などを排除しようとする。この働きによって歯肉が炎症をおこし、赤く腫れる。



歯周炎



参考：歯周病治療の指針2015（日本歯周病学会）